

和の光



宝塚市立西谷中学校

■命の尊さ講座～生と性について考える～

12月21日、助産師の田口紗緒里さん（公益社団法人 小さないのちのドア）をお招きし、全校生徒を対象にした講演会を行いました。「生」「性」とは何か、自分自身を好きになること、人を好きになること、人を思いやることなどたくさんのお話を聞かせていただきました。どのお話も助産師として関わった生命の誕生や田口さんの人生経験に基づくもので、子どもたちにとって分かりやすく、大きくうなずきながら話に聞き入っていました。田口さん貴重なお話を有難うございました。

【生徒の感想】

★今日の講座で学んだことは、自分たちの生まれる時のことと、性に関することです。生まれる時のお話で、特に驚いたことは、赤ちゃんが生まれてくる時を決めていることです。弟が生まれてくる時に、先生が予定日を言っていたから、先生が決めていると思っていたので驚きました。性に関することは「自分の赤ちゃんを育てる準備ができるまで、性行為をしない方がよい」という言葉が胸に響きました。思わぬ妊娠を防ぐためにはとても大事なことだと思いました。今日は大切なお話をいただき有難うございました。（女子）

★今日のお話を聞いて生きることについて改めて考えました。命を繋ぐことは凄く素晴らしいことだと感じました。自分より前の世代が一人でも欠けると自分は存在していないので、感謝して生活したいと思いました。自分は今、思春期でイライラするけど、何もしないのではなく、自分の長所と短所に向き合うことが大切だと思いました。また、出産のときに、赤ちゃんは誰にも教わってもいないのに、自ら生まれてこようとするのを知り、凄くことだと思いました。出産のときには周りで支えたり協力したりする人の存在が大切だと知りました。（男子）

★性は心が生きるという意味だと初めて知りました。今いる皆は私も含めて、たくさんの人から応援され、愛情をもらって生まれ、育ってきた人だなと感じました。赤ちゃんは周りの人を笑顔にするなど凄い能力があることが分かりました。命はどれも大切に育てられてきたとても大切にしないといけないものだと思えました。そんな命を災害や犯罪などでたくさん失っていることは悲しいことだと思います。自分を好きになることは大切なことだと分かりました。今、私は自分の事は嫌いなので、田口さんのお話を聞いて、いつか自分を好きになれるといいなと思いました。自分も他人も大事に一日一日を楽しく過ごしていきたいなと感じました。（女子）

★生と性について学びました。保健の授業などであらかじめ知っていたこともあったが、生まれる時の様子は全く知らなかったの、この機会に知ることができて良かったです。お母さんだけが頑張るのではなく、周りの人たちが応援することで、安心感になることが分かりました。今の僕は自分の短所に目が行き、自分の事が嫌いです。でも、これからは、自分の良いところを伸ばしていける人生にしたいです。僕は周りの人達にたくさんの愛情をもらって育ててもらったので、今生きていることに感謝。（男子）

★今日の命の尊さ講座では、命の大切さなどについて知りました。赤ちゃんなど子どもは愛情がないと育たないということを知り、私もお父さんやお母さんなどからたくさん愛情をくれたからこそここまで育ったと思いました。そして、赤ちゃんや子どもは知らない人をも笑顔にしてくれると聞いて共感しました。なぜなら、私も赤ちゃんを見ると笑顔になる時がたくさんあるからです。これからは、自分をもっと好きになれるように頑張りたいと思います。（女子）

★命の尊さ講座を聞いて命の大切さを知りました。妊婦さんが子どもを産むことがどれだけしんどいのが分かりました。自分たちが今までにどれほど愛情を受けて育ってきたのかが分かりました。（男子）

★今日のお話を聞いて一番考えたのは、望まない妊娠についてです。理由は中絶しようとしても、妊娠から21週6日目までしか中絶手術を受けられないとなると、気付くのが遅くなれば絶対に出産しないといけないから、妊婦が子育てできない環境なら、子どもを養子に出さないといけない人もいます。そのようなことになったら、子どもも自分も悲しくなるから、しっかりと考えて行動したほうがいいと思いました。もう一つびっくりしたのは、陣痛の時間が12～15時間という長時間であることを初めて知りました。その時間お母さんは痛みと戦っていると思うと、少し怖いです。でも、とても感謝することができました。（女子）

★今日のお話を通して、生命の大切さがすごく分かりました。助産師は赤ちゃんを産むときに助けてくれるだけではなく、子育てのお手伝いなどしていることを知りました。言葉は人の助けになったり、逆に人を傷つけたりしてしまうこともある。言葉を発する前に考えて、その人に何をしたら一番良いのかと考えることが大切だと思いました。自分のことが嫌いと思うとは、どこがダメなのかを考え、それを前向きにとらえることが大切であることが分かりました。命の尊さに加えて自分のこれからの人生を考える機会にもなりました。（男子）



★田口さんのお話を聞いて改めて命の尊さを知りました。お話を聞いて一番私が大事なと思ったことは、自分のことを好きでいるということです。私はあまり自分のことが好きではないです。でも今日、田口さんのお話を聞いて、「あ、自分のことを好きでいた方がいいのだな」「自分のことを好きな方が幸せでいられるのだな」と思いました。なので、これから時間がかかったとしても、自分のことを好きでいられる自分になりたいと思いました。田口さんは粘り強く、負けたくないという一心でリハビリにも耐えて頑張ったからこそ、今の田口さんがあると思うので、私も田口さんのように何事にも粘り強く、負けたくないという気持ちで生きていきたいです。（女子）

★命というのはこれまで何人もの人に関わって繋がっていると改めて感じました。田口さんが言われていた通り、一人でも欠けていたら、今の自分や家族はいないかも知れないと思うと、感謝をしないといけないなと思いました。また、毎日朝起きることや今日を迎えていることが当たり前ではなく、とても素晴らしいことだと感じました。僕はいつも寝る前に明日の事を考えてから眠っていますが、その日にあった良いことを思い出して眠りにつきたいなと思います。(男子)

★友達の誰かがしんどさや辛さを感じた時に、電話をしたり一緒にいたりできる優しい人になりたいです。そして、僕は人に「やめて」と言われた時には、すぐにやめることができる人になりたいです。また、やめてのサインに気づいてやめてくれる友達も大事にしたいです。自分を好きになるためにも、自分の良いところを探したり、自分の悪いところを改めて見直したりして、少しでも変えていけるようにしたいです。(男子)

■識字を通して人権を学ぶ

12月に開催した人権学習の講演会(識字を通して人権を学ぶ)で講師としてお話いただいた中村美智代さんからご丁寧なお手紙をいただきましたので、下記に紹介をさせていただきます。中村さんから学んだことは本校の生徒たちの心に刻まれ、人生で活かされることと信じています。

西谷中学校
西谷中学校の皆さん 先日は人権学習会にお招きいただきましてありがとうございます。私の言葉不足の話を中心に聞いてくださる感謝しました。その成果として質疑が次から次へとあり大変喜んでおります。私の場合教育と言うものは目に見えた成果がありませんが、文字を求め、言葉の意を求め、中歩五十年の学びです。皆さん今を大切に多めに学ぶ、遊ぶ、トライアールに力を注ぎ生きていく力を身につけてください。

校長先生 始め先生方 生徒の皆さん
ありがとうございます。

■スナッグゴルフ教室を開催しました



西谷小学校の児童と西谷中学校の生徒が参加し、スナッグゴルフ(SNAG GOLF)を体験しました。通常のゴルフと比べて、子どもや初心者でも簡単にボールを打つことができるので、場所を選ばずに安全にプレーができます。この教室の開催にあたり、有馬カンツリー倶楽部の皆様から道具をお借りし、スタッフの皆さんが子どもたちを指導してくれました。初めて体験する子どもたちですが、スタッフさんの説明を受けて、あっという間にクラブ(ランチャー・ローラー)を振って、スナッグボールを打っていました。久しぶりに皆で身体を動かして、楽しい時間を過ごせたようです。教室の運営でお世話になりました有馬カンツリー倶楽部の皆様、西谷小中学校 PTCA の皆様、本当に有難うございました